

授業科目 人体の構造と機能Ⅰ

【担当教員名】 山口 康昭、西野 幾子、山田 まりえ	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	45

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

人体の基本的構造を全体的に理解する。器官・組織系、骨格系、筋系、循環器系、内臓系、内分泌系、感覚器系、神経系について、それぞれの形態・構造を理解する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 人体を構成する細胞の構成要素と機能を説明できる。
2. 種々の組織の分類とその特性を説明できる。
3. 生活行動を支える運動系について、形態と構造を説明できる。
4. 流通路としての循環系について、形態と構造を説明できる。
5. 呼吸と栄養摂取の機構について、形態と構造を説明できる。
6. 排泄および性と生殖に関する機構について、形態と構造を説明できる。
7. 液性調節（内分泌系）の機構について、形態と構造を説明できる。
8. 神経系調節の機構と感覚器系について、形態と構造を説明できる。

回 数	授業計画又は学習の主題				SBO	学習方法・学習課題又は備考・担当教員	
					番号		
1	解剖学序論	解剖学とは	解剖学用語	看護学との関わり	1	講義（講義・実習内容については	
2	組織学1	組織学総論	人体を構成する細胞と細胞内小器官		1,2	講義 変更する場合があります)	
3	組織学2	細胞と四大組織	上皮組織	支持組織	2	講義	
4	組織学3		筋組織	神経組織	2	講義	
5	骨格系1	骨学総論	骨の構造		3	講義	
6	骨格系2	骨学各論	頭蓋	脊柱	3	講義	
7	骨格系3		胸郭	上肢の骨 下肢の骨	3	講義	
8	筋系1	頭頸部の筋	胸腹部の筋		3	講義	
9	筋系2	上肢の筋	下肢の筋		3	講義	
10	脈管系1	心臓	肺循環・体循環		4	講義	
11	脈管系2	血管の構造	動脈系	静脈系 リンパ系	4	講義	
12	消化器系	消化管の構造（食道 胃 小腸 大腸） 肝臓 膵臓				5	講義
13	呼吸器系	気道	気管と気管支	肺	5	講義	
14	泌尿生殖器系	泌尿器	男性生殖器・女性生殖器		6	講義	
	内分泌系	内分泌腺各論		各種ホルモンの役割	7	講義	
15	神経系1	中枢神経系	脳	脊髄	8	講義	
16	神経系2	末梢神経系	脳神経と脊髄神経 自律神経		8	講義	
17	感覚器系	視覚器	平衡聴覚器	皮膚とその付属器	8	講義	
18	人体解剖見学実習	系統解剖の見学				1～8	実習・学外

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	入門人体解剖学 改訂第4版	藤田 恒夫	南江堂	1999年 ¥5,250
参考書	人体解剖ビジュアル-からだの仕組みと病気-	松村譲児	医学芸術社	2005年 ¥3,990
その他の資料				

【評価方法】

出席状況、小テスト、期末試験の総合評価

【履修上の留意点】

短期間に「解剖学」の全範囲を勉強しますので、予習・復習を習慣づけてください。不定期に小テストをおこないます。欠席をしないよう特に注意してください。なお、実習についての注意点は、授業中に伝達します。